

Ascentech

www.ascentech.co.jp

アセンテック株式会社

2020年1月期 第2四半期 決算説明会資料

2019年9月17日

東証マザーズ 証券コード3565

Copyright Ascentech K.K. All right reserved.

ascentech



アセンテック株式会社は、
「テレワーク」を実現する
キーテクノロジーである
「仮想デスクトップ」
を主要事業としています。

東京証券取引所市場第一部への上場市場変更承認に関するお知らせ

本日、当社は株式会社東京証券取引所の承認を受け、2019年9月20日をもちまして、当社株式の上場市場が東京証券取引所マザーズ市場から東京証券取引所市場第一部へ変更されることとなりましたので、お知らせいたします。

これもひとえに、株主の皆様、お取引先様をはじめ、当社をこれまで支えてくださった全ての皆様からの多大なるご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

当社は、「簡単、迅速、安全に！お客様のビジネスワークスタイル変革に貢献する。」をミッションとし、高いセキュリティと効率性の高いIT環境を提供し、お客様の経営に寄与することで社会に貢献しながら、今後もさらなる事業拡大と企業価値向上に努めてまいります。

これまでの皆様のご支援ならびにご厚情に改めて御礼申し上げますとともに、引き続きのご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、当社株式の東京証券取引所市場第一部銘柄指定に関する詳細につきましては、日本取引所グループホームページをご覧ください。[\(https://www.jpx.co.jp/\)](https://www.jpx.co.jp/)

2019年9月13日

■ 1

2020年1月期 第2四半期決算報告

■ 2

2020年1月期 業績の見通し

■ 3

マーケティングハイライト

■ 4

更なる成長に向けた事業戦略の進捗

■ 増収増益

2020年1月期 第2四半期累計期間

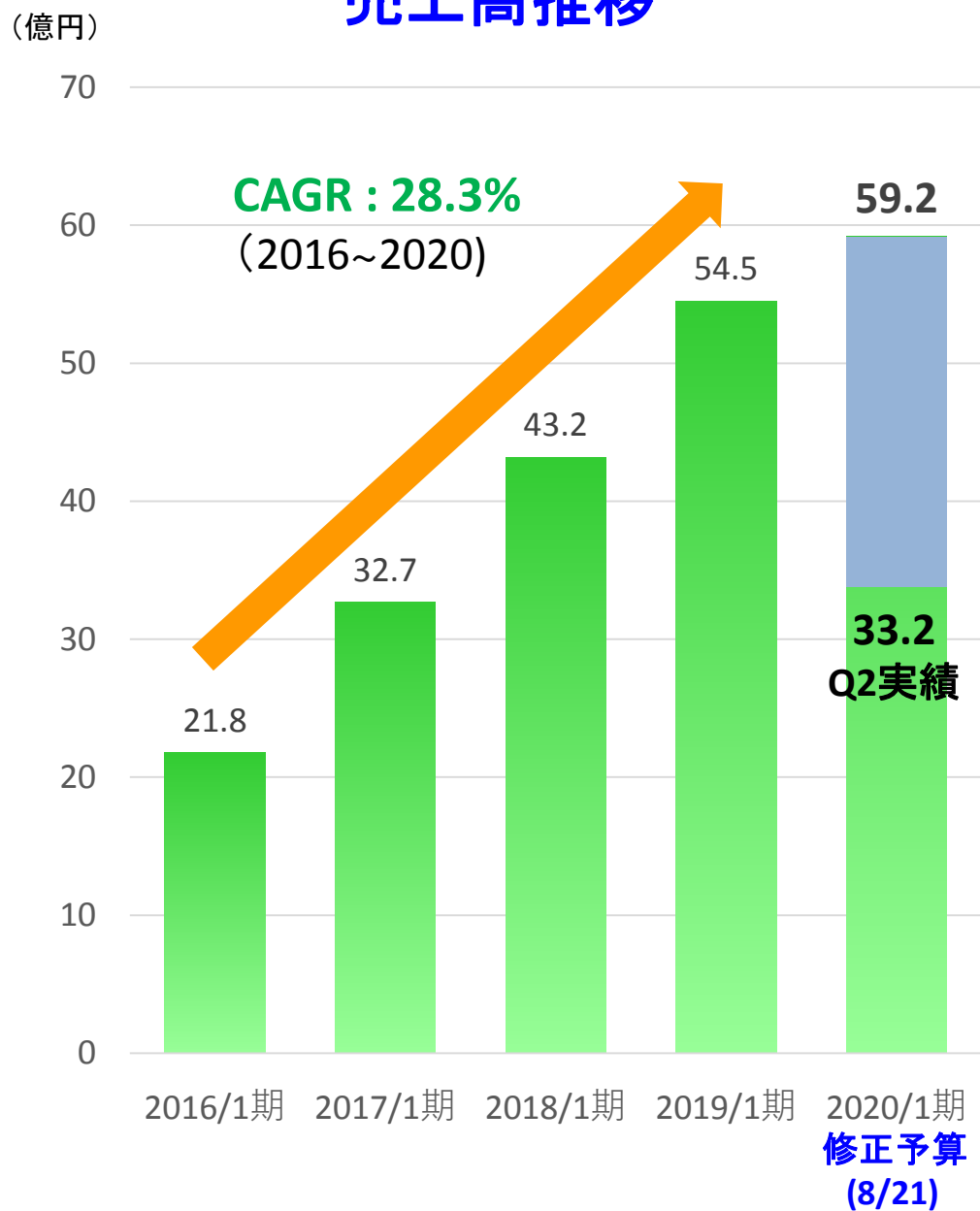
前年同期比増減率

売上高	3,325百万円	4.2%増
経常利益	264百万円	5.6%増

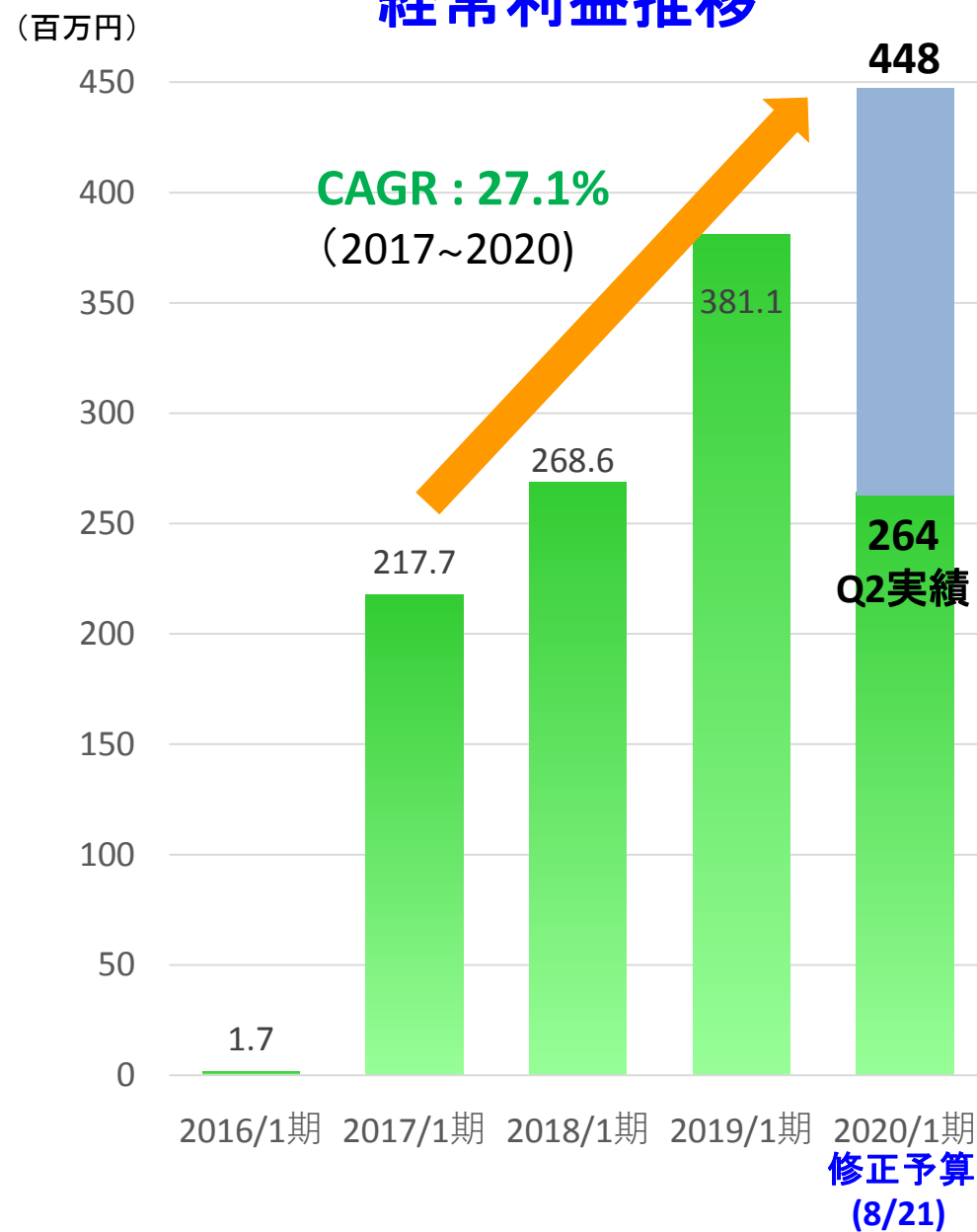
■ 増収増益の主たる要因

- ✓ **テレワーク導入案件**の増加や、企業のサイバーセキュリティ対策需要の増加に伴い、**仮想デスクトップビジネス**の事業領域が堅調に推移しました。
- ✓ **地方公共団体や国内大手クラウド事業者などのITインフラ**を受注したことや自社製品のリモートPCアレイなどの拡販が進んだことにより、**仮想インフラ及びストレージ**の事業領域においても堅調に推移しました。

売上高推移



経常利益推移



各事業領域で堅調に推移

■ 仮想デスクトップ

仮想化ソフトウェア
シンクライアント
Resalio Lynxシリーズ (自社製品)

■ インフラ&ストレージ

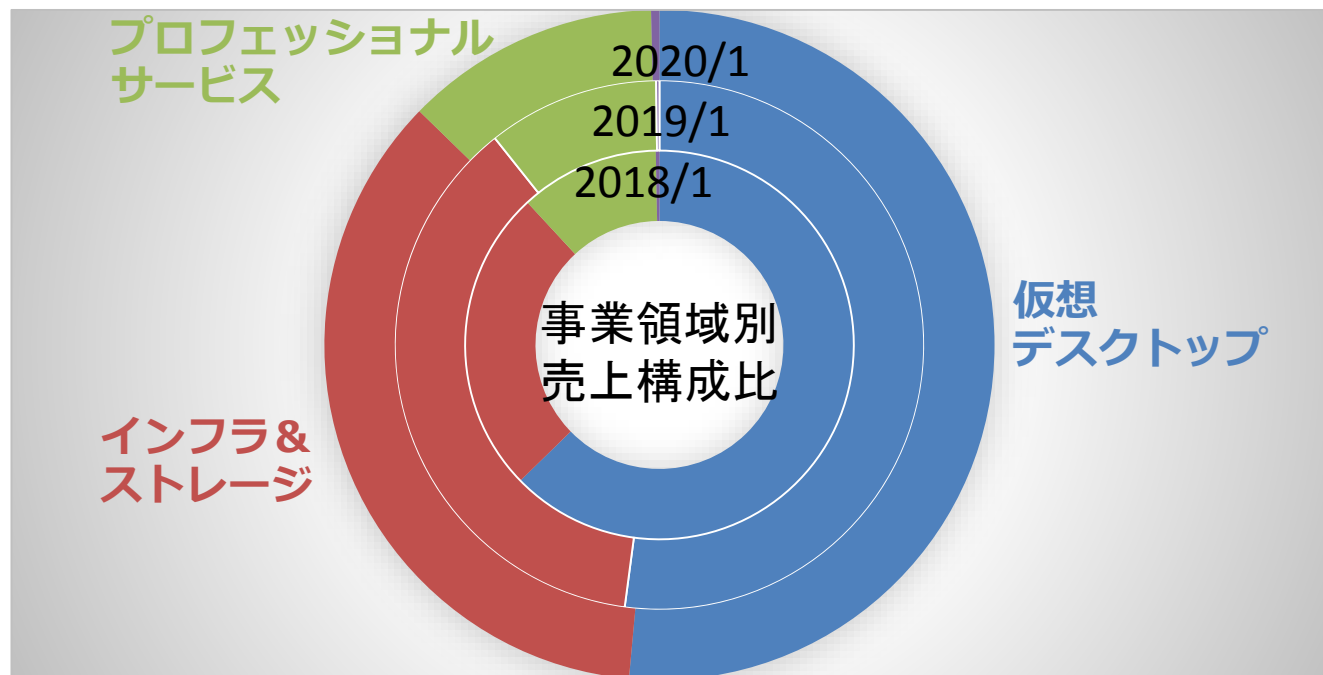
リモートPCアレイ (自社製品)
ハイパーコンバージド製品
オールフラッシュストレージ
サーバーなど

■ プロフェッショナルサービス

コンサルティングサービス
構築サービス
保守サービス (プレミアムサポート)

■ クラウドサービス

Resalio DaaS
Resalio BaaS
Citrixクラウド



事業領域	2018/1月期		2019/1月期		2020/1月期 (通期予算)	
	売上	構成比	売上	構成比	売上	構成比
■ 仮想デスクトップ	2,710	62.7%	2,843	52.1%	3,045	51.4%
■ インフラ&ストレージ	1,100	25.4%	2,028	37.2%	2,124	35.8%
■ プロフェッショナルサービス	502	11.6%	571	10.5%	730	12.3%
■ クラウドサービス	12	0.3%	12	0.2%	26	0.4%
合計 (百万円、%)	4,326	100%	5,456	100%	5,925	100%

■ 1

2020年1月期 第2四半期決算報告

■ 2

2020年1月期 業績の見通し

■ 3

マーケティングハイライト

■ 4

更なる成長に向けた事業戦略の進捗

営業利益は20.7%増、経常利益は17.5%増を予想

	2020年1月期 通期予算(修正前)		2020年1月期 通期予算(8/21修正)		2020年1月期 上期		2020年1月期 下期		前期実績 2019年1月期		前期 実績比
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	%
単位：百万円											
売上高	5,900	100.0	5,925	100.0	3,325	100.0	2,600	100.0	5,456	100.0	+8.6
営業利益	420	7.1	455	7.7	255	7.7	200	7.7	376	6.9	+20.7
経常利益	405	6.9	448	7.6	264	7.9	184	7.1	381	7.0	+17.5
当期純利益	280	4.7	310	5.2	182	5.5	128	4.9	265	4.9	+16.7
1株当たり 当期純利益(円)	42.22	-	46.19	-	27.32	-	18.87	-	40.16	-	+15.0

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、業績の推移、財務状況、事業計画に基づく資金需要等を総合的に勘案し、内部留保とのバランスをとりながら、経営成績に合わせた利益配分を基本方針としております。今後の配当性向につきましては20%を目指します。

1株当たりの配当金				
基準日	第二四半期末	期末	合計	配当性向
2018年1月期 実績	0円00銭	10円00銭	10円00銭	16.7%
2019年1月期 実績	0円00銭	14円00銭	14円00銭	17.4%
2020年1月期 予想	0円00銭	7円00銭	7円00銭	15.2%

(注) 当社は、2019年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2018年1月期及び2019年1月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。なお、2020年1月期（予想）につきましては、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

■ 1

2020年1月期 第2四半期決算報告

■ 2

2020年1月期 業績の見通し

■ 3

マーケティングハイライト

■ 4

更なる成長に向けた事業戦略の進捗

3社共同 全国キャラバン 5拠点を開催 働き方改革セミナーを通し、多くのリードを獲得



6月28日 : 大阪会場 30名

パナソニック インフォメーションシステムズ様 協賛

7月 4日 : 福岡会場 30名

ピー・ビーシステムズ様 協賛

7月12日 : 新潟会場 20名

BSNアイネット様 協賛

7月18日 : 盛岡会場 20名

花田設備様 協賛

7月26日 : 東京会場 30名

ファソテック様 協賛

東洋ビューティ株式会社

即効性と費用対効果で
WinActorを選択

大がかりなシステム開発を経ずに
RPAで課題解決



東洋ビューティ株式会社
中央研究所 情報管理室 室長 斎藤 公浩 氏 (写真右)
係長 水阪 亮太氏 (写真左)

リモートPCアレイ導入効果

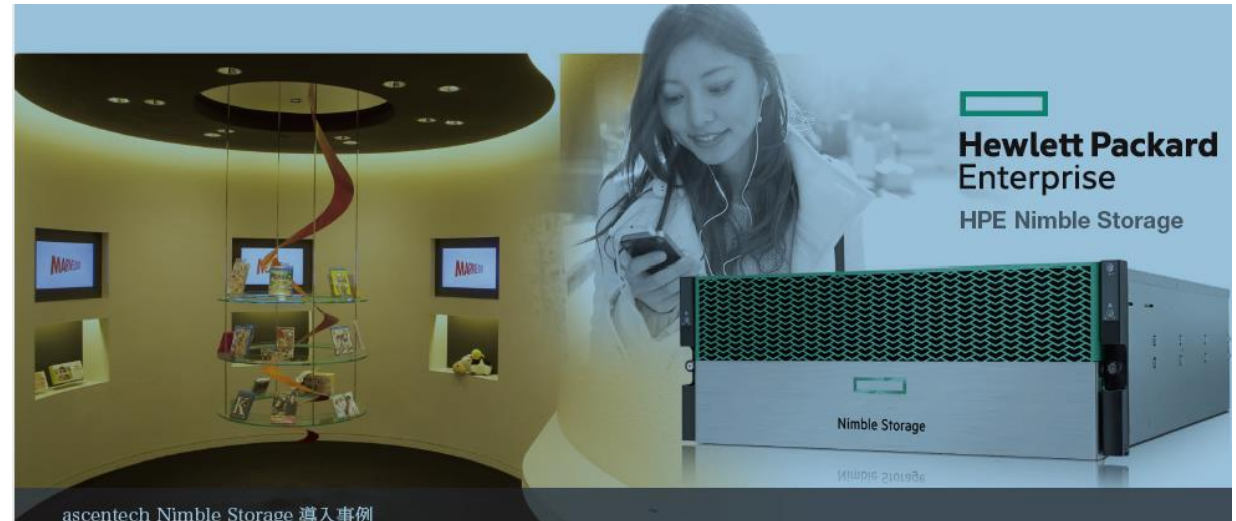
- 複数システムのデータを集約・一覧化
- 社内システムの処理催促
- 社外Web サイトの検索・データ取得
- リモートPCアレイとシンクライアント
を利用したフリーアドレス化

株式会社マーベラス

「驚き」と「感動」を世界に届ける
新しいエンターテインメントの創造



管理統括本部
情報システム部長 兼 デジタル基盤管理
グループ マネージャー 前田 浩二氏(左)
情報システム部 デジタル基盤管理グルー
プ 三上 涼氏(右)



エンターテインメント制作現場で、増え続けるCG,
4K映像など大容量データを快適に！

Nimble Storage 導入効果

- 先進の「重複排除」と「圧縮」機能で効率的なデータ管理
- 高い可用性 99.9997%
- AIを活用したクラウド型マネジメントシステム InfoSightで、システムの予兆管理が可能

■ 1

2020年1月期 第2四半期決算報告

■ 2

2020年1月期 業績の見通し

■ 3

マーケティングハイライト

■ 4

更なる成長に向けた事業戦略の進捗

1. **自社製品の開発と展開**
2. 継続収入ビジネスの拡大

Resalio Lynx 300/500/700 製品開発強化

既存のPCをシンククライアント化する
当社オリジナルソフトウェア製品

Resalio Lynx 300/500



USBキーブート型

Resalio Lynx 700



ソフトウェア型

- ◆ ウィルスに感染しないエンドポイント（端末）を実現
- ◆ 情報漏洩のない（データ保存できない）エンドポイントを実現
- ◆ 働き方改革を背景にテレワーク需要に対応
- ◆ 端末一元管理で運用・管理コストも削減
- ◆ KIOSKモードにも対応、URL入力やWeb検索も遮断
- ◆ 既存PCを再利用、Window 7 PCでも動作可能

Resalio Lynx 300/500/700 製品開発強化

なぜ開発を強化するのか？

- 【背景】**
- 5Gの普及により業務アプリケーションがクラウドやデータセンタに集約。
 - セキュリティ対策は、更に重要なテーマに。
 - 働き方改革を背景にテレワーク需要が旺盛に。
 - 情報システム管理者から煩雑な端末管理を開放。

- 【変革】** エンドポイント（PC）のあり方が変わる。
- クラウド上のWindowsアプリケーションを画面転送で処理。
 - セキュアなブラウザベースのアプリケーション及びファイル処理。
 - 単一業務専用のKIOSK端末。
- 5Gの普及 = エンドポイントにWindows OS及びストレージは不要に*

- 【対応】** 全てのPCに導入可能なクラウド対応OS「Resalio Lynx」の開発を強化。

*: 当社の独自見解です。

5Gネットワーク+クラウド時代におけるエンドポイント



画面転送技術で
Windowsアプリケーション
& Webブラウザを分離



Resalio Lynx

Software Defined EndPoint

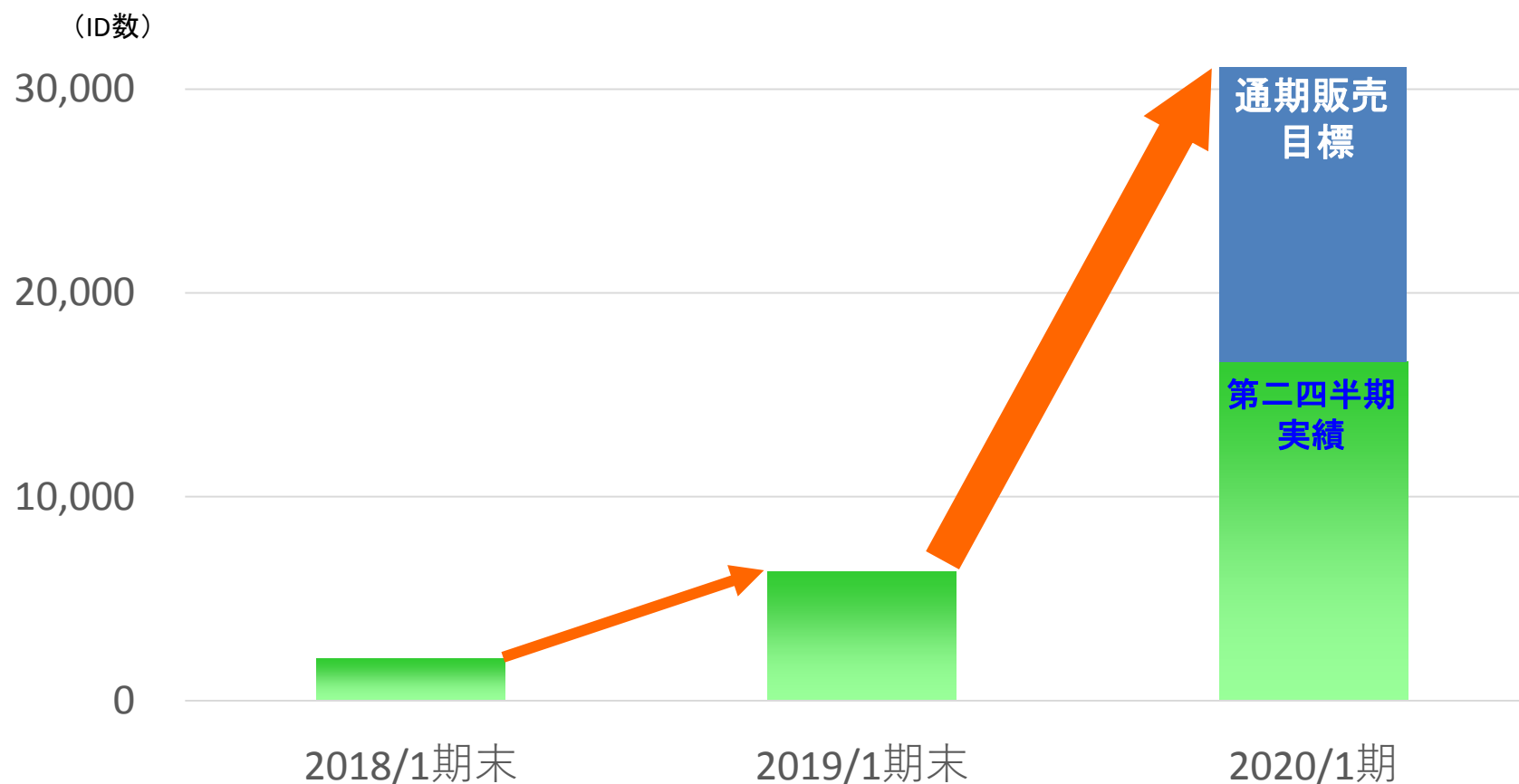


将来のエンドポイントの形態

- Windows OSレス
- ストレージレス
- シンククライアント化
- ブラウザのセキュリティ強化
- アプリケーション毎KIOSK化
- 管理者によるカスタマイズ

端末ハードウェアは標準PCを利用

Resalio Lynx契約ID数推移（サブスクリプション契約）



Resalio Lynxのターゲット市場は、法人向けPC。
法人向けPCの出荷台数は、年平均約300万台。
約1,500万台のPCが企業で稼動していると予測。（当社見解）

「リモートPCアレイ」新製品を発表

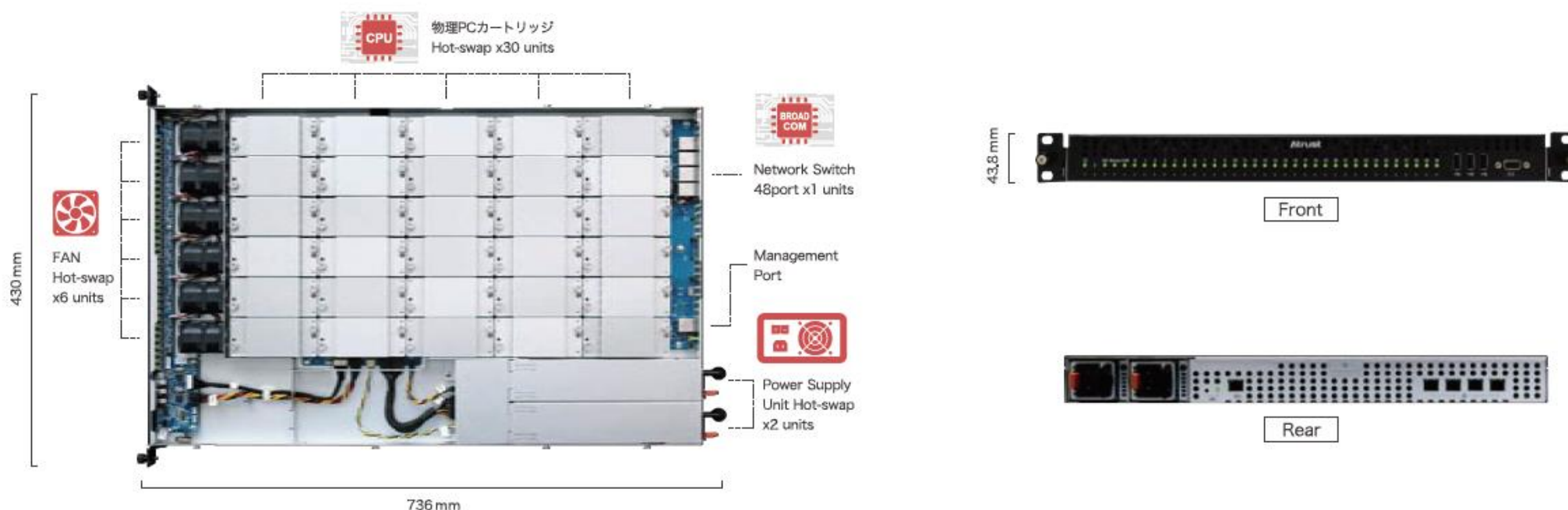
なぜ「リモートPCアレイ」の採用が進むのか？

- ◆ 仮想デスクトップの導入障壁を克服！
- ◆ テレワーク環境を容易に実現！
- ◆ Windows7サポート切れ(2020/1)に伴い、Windows10への移行が加速！
- ◆ RPA (Robotic Process Automation) 利用に最適なプラットフォーム！

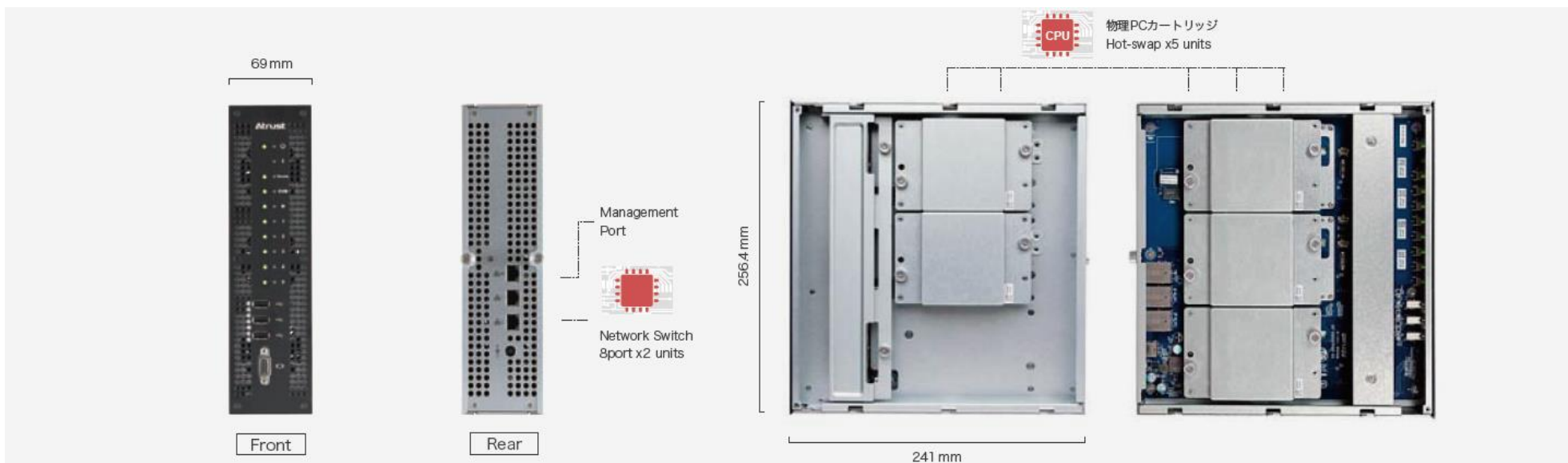


大規模仮想デスクトップ用「リモートPCアレイ200」

- 1Uのサーバ筐体に、30台の小型PCを集約
- Windows 10への移行先のシステムとして最適
- 高密度実装により、1ラックで約1,000ユーザまで収容可能



RPA用専用プラットフォーム「リモートPCアレイ50」



特長

RPAに最適な同一仕様PC5台構成

複数拠点にあるRPA専用PCを1拠点に集約することで、ライセンスコストを削減できます。また、PC仕様が統一されているため、シナリオの安定稼働に最適です。さらに、管理ソフトウェアにより一元管理が可能です。

主要なクライアント型RPAをサポート

国内で主要なクライアント型 RPA (WinActor, UI Pathなど)動作確認済み。[※]

RPA専用PCとして安心してお使いいただけます。

[※] アセンテック社調べ

セコムトラストシステムズ株式会社様 リモートPCアレイを大規模導入



セコムグループの情報・ネットワークシステムを担うセコムトラストシステムズ株式会社様が、仮想デスクトップ基盤として「リモートPCアレイ」を採用。**セコムグループへ7,700台（385シャーシ）**展開されました。

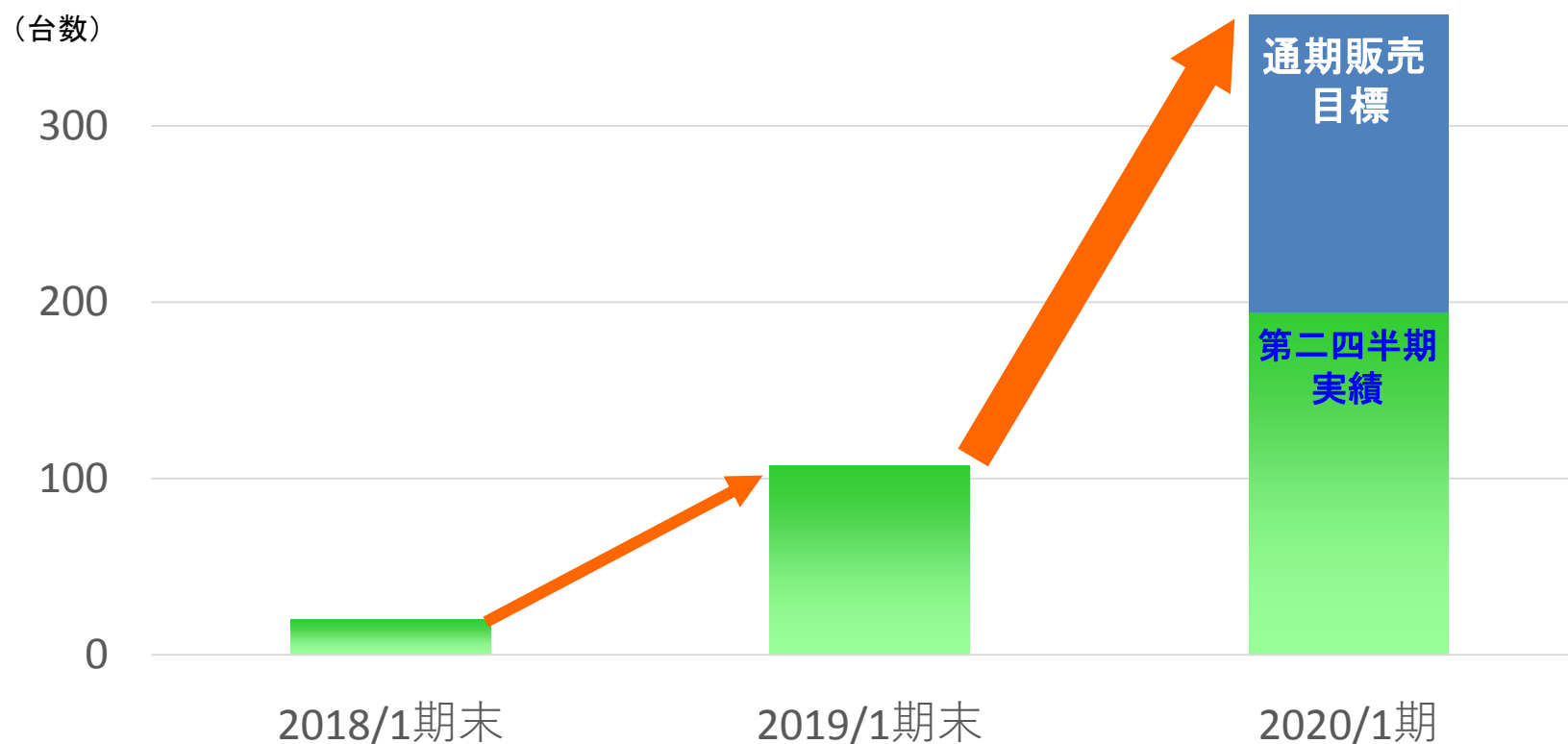
導入効果：

旧環境からリモートPCアレイに移行し、パフォーマンスが大幅に改善。ユーザーの満足度が向上。

また、ハードウェア障害も**18ヶ月間の月間故障率が0.01%以下**と非常に少なく、運用面の負荷が大幅に低減。

https://www.ascentech.co.jp/news/press/pr180424_01.html

リモートPCアレイ 累計出荷台数



仮想デスクトップ、RPA (ロボティック・プロセス・オートメーション) ともに案件の大型化が進む

上グラフは一般販売開始後(セコムトラストシステムズ様への納品分以外)

1. 自社製品の開発と展開
2. 継続収入ビジネスの拡大

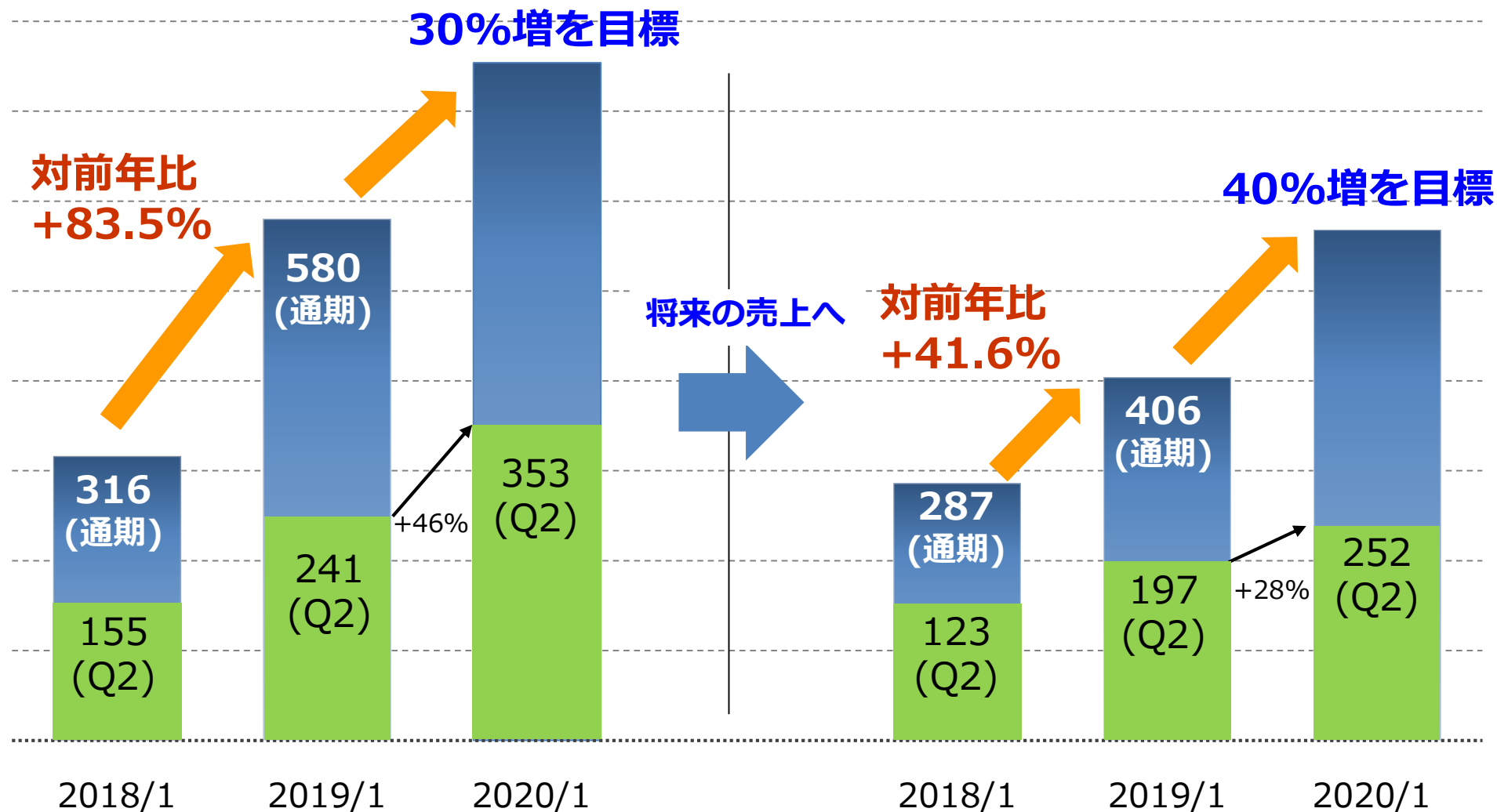
■ 継続収入ビジネスの拡大

当社は、**更なる利益成長と堅牢な企業基盤**を構築するために、**継続収入ビジネスの拡大**を目指しております。具体的な施策として以下の3つを掲げます。

- Resalio Lynxのサブスクリプション化
- 自営保守ラインアップの拡大
- プレミアサポート&サービスの拡大

継続収入受注ベース 実績と目標(将来の売上)

継続収入売上ベース 実績と目標(その年度の売上)



本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。

かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

The logo for Ascentech, featuring the word "ascentech" in a white, lowercase, sans-serif font. The letters "a" and "e" have a small yellow dot above them. The logo is centered within a dark blue rectangular background.

ascentech